

Beat-Sonic® DRLB2

NO:000001

取扱説明書

この度はバータイプデイルイトをお買い上げいただきありがとうございます。
取付ける前に、この取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

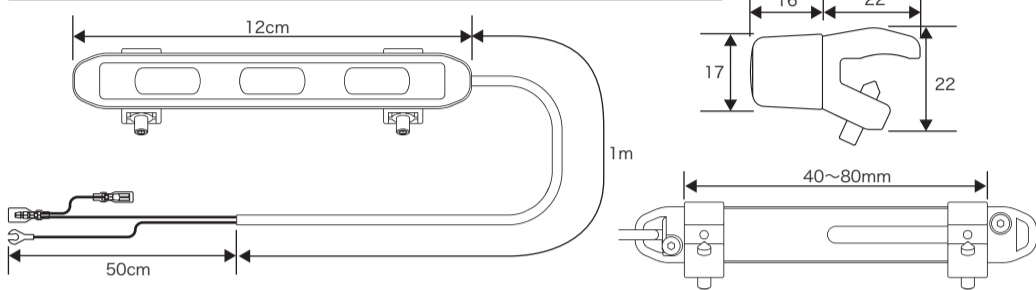
■本機の特徴

- ・フロントグリルのルーバーに取付け可能なバータイプのLEDデイルイトです。
- ・3×3 光輝度LEDにより、昼夜の視認性を向上させます。
- ・フロントグリルに挟み込んでネジを締めるだけで簡単に取付けることができます。

■注意事項

- ・本製品は、DC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などDV24V車には使用しないでください。
- ・保安基準によりデイルイトは左右対称に取付けるように定められています。必ず本製品が取付位置、取付角度ともに左右対称になるように取付けてください。
- ・形状や振動などのご使用環境により本製品が外れる場合があります。簡単に外れないことを確認してご使用ください。
- ・本製品の固定は止ネジによって行うため、場合によってはルーバーに傷がつくことがあります。
- ・固定用のネジは振動によって緩む場合があります。定期的にネジの締め具合を確認してください。
- ・本製品が外れたことによる故障、破損等の責任は一切負いません。
- ・本製品は保安基準 第42条「その他の灯火等の制限」に準じて設計された保安基準適合品ですが、各都道府県の車検場によっては不適合と判断される場合がありますので、車検時にはデイルイト機能をオフにした状態で受検されることをお勧めします。
- ・LEDを封入している樹脂にみられる気泡は製品の性能には影響ありません。

■DRLB2について



■仕様

電源電圧	DC10V～14.4V(マイナスアース)
消費電流	約210mA(14.4V時、片側のみ)
色温度	約8000K
光度	約50cd
ケーブル長	約1.5m

■同梱品

※ LEDデイルイト×2個、六角レンチ×1個、取扱説明書(本書)

■お取り付け上の注意事項

- ※ 運転操作や車体の可動部分を妨げないように取付けること。
- ※ パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけないこと。
- ※ 水のかかる所、湿気、ほこりの多いところに取付けないこと。

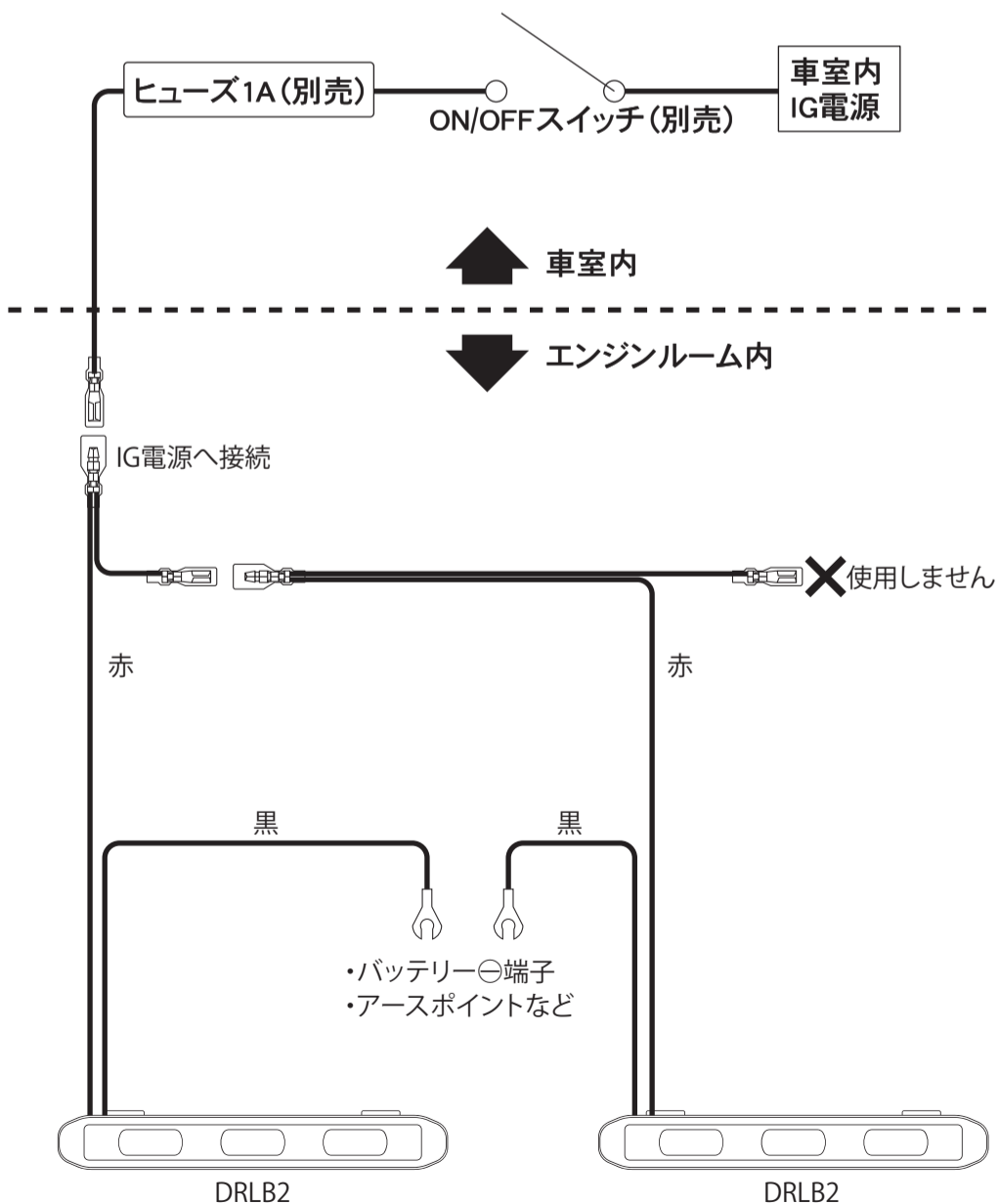
※ このアダプターの不当な取扱いによる不具合または不当な取付によって生じた損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、ご装着の際はあらかじめご了解ください。

(株)ビートソニック 〒470-0112 愛知県日進市藤枝町こうしん472-5

TEL:0561-75-1655 / 0561-74-5592 FAX:0561-74-5595

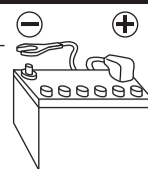
URL : <http://www.beatsonic.co.jp>

接続例①(推奨)



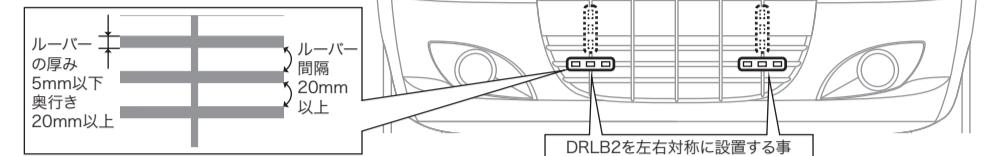
⚠️ 取付作業を行う前のご注意

- ※ 配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ※ 車体の板金部近くを通るコードには、保護テープを巻いてください。
- ※ 取付後、ブレーキランプ、ヘッドライト、ウィンカー、ワイパーが正常に動作することを確認してください。



■取付条件

- ①ルーバーの厚み・・・5mm以下
- ②ルーバーの奥行き・・・20mm以上
- ③ルーバーの間隔・・・20mm以上
- ④左右対称



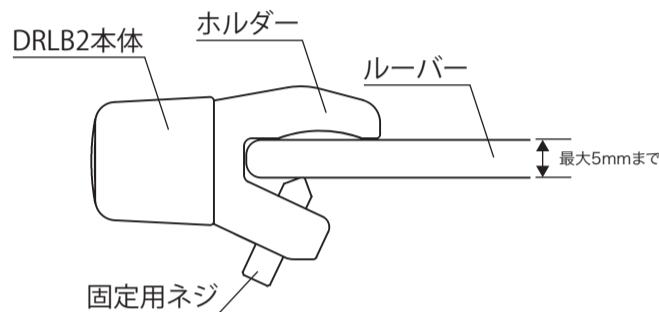
■道路運送車両の保安基準について【外部突起規制】

本製品は、平成29年4月1日以降の外部突起規制に適合しています。
道路運送車両の保安基準 第十八条第一項第2号に、自動車及び車体には「鋭い突起がないこと」と規定されています。具体的には告示で、「直径100mmの球体を静かに押し当てたとき球体の接触することができる部分に半径2.5mm未満の角部があってはならない」とされています。本製品は正規の取付けでこの規制に適合するよう設計されています。

■構造装置の軽微な変更時の取扱いについて

使用過程に本製品を装着したときに長さ±3cm以内で在る場合、構造変更に係る諸手続き(自動車検査証の記載事項の変更手続き)は不要となります。

■取付け



- ①ルーバーにDRLB2のホルダーを奥までしっかりと差し込む
- ②付属の六角レンチで固定用ネジを締め、しっかりと固定する
- ③配線は結束バンド(別売)などを使い、車両配線などに必ず固定してください。



- ※DRLB2は取付位置、取付角度ともに左右対称になるように取付けてください。
- ※固定用ネジの締め込みすぎにご注意ください。ホルダーやルーバーが破損する恐れがあります。
- ※配線が固定されていない場合、ベルトやファンに絡まり重大事故に繋がる可能性があります。
- ※配線を高温になるエンジンやマニホールド付近へは配置しないでください。

接続例②

